

LES
QUATRE
CENTS
COUPS



海

開かれた灰色のノート
少年の日の空想・希望——
心になんの悲しみも残さず
嵐のように過ぎ去った日々……

大人は わか 判 て く れ な い

'59フランソワ・トリュフォー監督作品
ジャン・ピエール・レオー / クレール・モーリエ / アルバール・レミー

撮影アンリ・ドカエ / 音楽ジャン・コンスタンタン
新日本映画社

映画と講演

'60 || '80 ナウ・プレゼンツ

期間 ■ 9月28日(金) ■ 10月1日(月) ■ 10月2日(火) ■ 10月15日(月) ■ 10月16日(火) ■ 10月17日(水)

9月28日(金)と10月2日(火)

野坂昭如

● ぼくの少年期

10月1日(月)と10月15日(月)

おすぎ

● フランス・シネマ・エトワラ

10月16日(火)と10月17日(水)

白井佳夫

● トリュフォー 祭典

*前売券1000円(一般1300円)の処 絶賛発売中! 都内プレイガイドで発売中

銀座7丁目・日本楽器ビル4F TEL(572)3111

ヤマハホール

■時間■
PM5:30
PM7:30
■料金■
大人1300円
学生1100円

東京都千代田区富士見2-1-12富士見会館
株新日本映画社
TEL(03)3200-0000

■解説

カンヌ映画祭監督賞をうけた、当時27才のヌーベル・バーグ派フランソワ・トリュフォーのはなばなしいデビュー作である。

映画記者時代、一種の異端児として尖鋭な批評の筆をふるっていたトリュフォーが、自分の少年時代をふりかえり、その体験をさまざまな形でエピソードとしてはさみながら、12才の少年の夢と現実、理想と絶望を、決して拭うことのない反抗意識を通して、いきいきと描き出したもの。脚本も彼自身。撮影は、ヌーベル・バーグ派の新進監督の作品を続けて担当している名カメラマン、アンリ・ドカエ。音楽はシャンソン作曲家として有名なジャン・コンスタタン。主役の少年に扮するのは当時12才のジャン・ピエール・レオー。女優のジャクリヌ・ピエールの息子であり、その毛並の良さが、三百名近い候補者の中からトリュフォーの目にとまり、反抗期の少年をみごとに演じこなしている。

その他に「殿方ご免遊ばせ」のクレール・モーリエ、「恋多き女」のアルベール・レミー、「いとこ同志」のギイ・ドゥコンプルなどがそれぞれに個性的な演技を見せている。

■フランソワ・トリュフォー監督

1932年2月6日パリ生まれ。14才の時、クルーズ監督の「密告」を見て映画監督を志す。のち、バザンが主宰する「カイエ・デュ・シネマ」の映画評論を書きだし、フランス一の戦闘的評論家となる。59年カンヌ映画祭監督賞をこの作品で受賞、国際的監督となる。

⑤7 あこがれ ⑥0 ビアニストを撃て ⑥7 黒衣の花嫁 ⑥8 夜霧の恋人たち ⑥3 アメリカの夜 最近では「思春期」などの代表作がある。

■キャスト■

アントワーヌ・ドワネル
.....ジャン・ピエール・レオー
アントワーヌの母.....クレール・モーリエ
アントワーヌの父.....アルベール・レミー
先生.....ギイ・ドゥコンプル
ルネ.....パトリック・オーフェイ

■スタッフ■

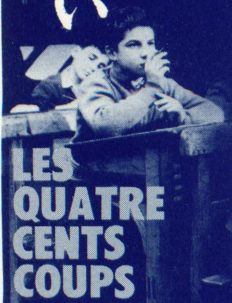
脚本.....マルセル・ムーシイ
フランソワ・トリュフォー
台詞.....マルセル・ムーシイ
監督.....フランソワ・トリュフォー
撮影.....アンリ・ドカエ
音楽.....ジャン・コンスタタン

■物語

12才のアントワーヌ・ドワネルは学校にいても、家にもおもしろくなかった。その日も、ちょっとしたことで何時間も教室にたたされたあげく、山のような宿題を命じられた。家に帰っても、妻の顔をそんがう父親との愛のない食事。終ると後かたづけ。そんなものだからとうとう宿題もやれずじまい。学校へ行けば先生に叩かれる。翌日、登校の途中であつたルネとアントワーヌは校門を横眼でみて、街へ。何といはればれたとした気持ち、すべてが生々として解放感にあふれていた。ところが見てはいけないうつらさを見てしまった。母親が見知らぬ男とキスをしていたのだった。その夜、アントワーヌは眠れなかった。揺れる少年の心。翌日、彼は無断欠席の理由に困り、「母が死んだんです」と云ってしまった。ところがそこに母親が……家に帰るなりアントワーヌはこっぴどくなぐられてしまう。しょんぼりしている彼に母親は言う「こんど作文で五番以内に入ったらごほうびをあげるわ。がんばりなさいアントワーヌ。一時もどつた平和な日、それでも長続きはしなかった。作文に尊敬するバルザックの一文とまる写しにした彼は、先生にこっぴどくしかられた。そして、それを弁護したルネは停学。アントワーヌはルネと一緒に一室に隠れることにした。腹がへった彼は父の会社からタイプライターを盗もうとして警察につかまった。警察から少年鑑別所へ。護送車の中で初めて彼は涙を流した。そして……彼は海へ向って脱走を企てるのだった。

大人は判ってくれない

新日本映画社



LES QUATRE CENTS COUPS